

目次

1. 目的	3
2. 適用範囲	3
3. 関連文書と用語集	3
4. 要求	4
4.1. 上位要求.....	4
5. 標準サイバーセキュリティ仕様書で保護する情報資産	6
5.1. 情報資産.....	6
Appendix A. ECU独自のサイバーセキュリティ要求仕様	6
Appendix B. ECU独自のサイバーセキュリティ評価仕様	6
Appendix C. 暗号鍵	6
Appendix D. 鍵フォーマット	6
Appendix E. 車両サイバーセキュリティECU開発プロセス CIA	6
Appendix H. 情報資産分類一覧	6

変更履歴

Version	Date	Changes	Target	Resp.
1.00	2022/3/29	New release		TMC Kurashige
1.01	2022/6/30	4.1 上位要求を追加 5.1 情報資産一覧を更新		TMC Kurashige
1.0.2	2022/7/28	「表. 標準サイバーセキュリティ仕様書の引き当て依頼書に記載された仕様書一覧：」のR1～12が重複していたため修正 [DC24-5015]		TMC Kitamura
1.5.0	2022/9/30	「表. 標準サイバーセキュリティ仕様書の引き当て依頼書に記載された仕様書一覧：」の「R6：ECU脆弱性対策評価仕様書」について備考に次回リリース時の誤記修正内容を記載 [DC24-9183]		TMC Kitamura
1.6.0	2022/11/11	下記、項番の上位要求のアップデート ・R1、R2、R3、R4、R15、R16、 [DC24-9079] [AGLSD-3025] [AGLSD-3024]		TMC kurashige
1.70	2023/3/17	46F上位要件のアップデート[352-1] 1][DC24-13924]、[AGLSD-4431]、[AGLSD-4430] 目録.xlsxを参照		TMC kurashige
3.00	2023/6/6	46F上位要件の削除R8、R13、R14、追加R27～30[AGLSD-6273]		TMC Kitamura
3.10	2023/7/11	誤記修正[AGLSD-6769]		TMC Kitamura

1. 目的

本書は、24CYマルチメディアシステムにおける情報セキュリティに関する要求と、その要求の適用について規定する。

2. 適用範囲

本書は、マルチメディア部品のうち、ヘッドユニットを適用対象とする。

3. 関連文書と用語集

本書に関連する文書と、その関係を以下に示す。

表 3-1 関連文書一覧

ID	文書名	説明	発行者
DC01	24CY_情報セキュリティ要求仕様書	本書。	1RF
DC02	46F要求仕様書	本書の上位文書。セキュリティ主管部署46Fより、Post21MM向けに発行される要求仕様書群。	46F

本書は、46F発行の『DC02』の要求を受け、その要求をシステムに適用する方法および結果について規定する。DC02に記載のない要求については、本書独自に規定する。

注記：

- ・ 本書および本書から参照する関連書において記載される、「Post21CY」は「24CY」と、読み替えること。

次に、用語集を示す。

表 3-2 用語集

名称	説明
HU	マルチメディアヘッドユニットを指す。
起動電源	HUの起動電源を指す。ACC等。
HSM	Hardware Security Moduleの略。

4. 要求

4.1. 上位要求

46Fが各ECU向けに発行する要求仕様書のうち、マルチメディアに適用すべきものについては、『標準サイバーセキュリティ仕様書の引き当て依頼書』にて規定される。標準サイバーセキュリティ仕様書の引き当て依頼書を、表、46F要求仕様一覧にまとめる。なお、この一覧は、46F-21-198 310D系 Post19PFセキュリティ仕様引当て依頼書の確認結果から抽出したものとなる。本要求では『46F要求仕様書』にて要求される項目に対して、要求項目の限定、変更、追加を行う。

表. 標準サイバーセキュリティ仕様書の引き当て依頼書に記載された仕様書一覧：

項番	仕様書名	仕様書番号	備考
R1	侵入検知 QSEv生成要求仕様書	SEC-ePF-IDS-QSV-REQ-SPEC	—
R2	侵入検知 QSEv生成評価仕様書	SEC-ePF-IDS-QSV-TST-SPEC	—
R3	侵入検知 サイバーセキュリティイベントロギング要求仕様書	SEC-ePF-IDS-ANO-REQ-SPEC	—
R4	侵入検知 サイバーセキュリティイベントロギング評価仕様書	SEC-ePF-IDS-ANO-TST-SPEC	—
R5	ECU脆弱性対策要求仕様書	SEC-ePF-VUL-ECU-REQ-SPEC	—
R6	ECU脆弱性対策評価仕様書	SEC-ePF-VUL-ECU-TST-SPEC	
R7	共通脆弱性対策要求仕様書	SEC-ePF-VUL-CMN-REQ-SPEC	評価仕様は、本仕様書に含まれる。文書として評価仕様書の要求はない
R9	無線通信セキュリティ要求仕様書	SEC-ePF-WLS-REQ-SPEC	—
R10	無線通信セキュリティ評価仕様書	SEC-ePF-WLS-TST-SPEC	—
R11	標準リプログラミングセキュリティ要求仕様書	SEC-ePF-RPR-REQ-SPEC	—
R12	標準リプログラミングセキュリティ評価仕様書	SEC-ePF-RPR-TST-SPEC	—

項番	仕様書名	仕様書番号	備考
R15	侵入検知 エントリポイント向け Host IDS 要求仕様書	SEC-ePF-IDS-HIE-REQ-SPEC	—
R16	侵入検知 エントリポイント向け Host IDS 評価仕様書	SEC-ePF-IDS-HIE-TST-SPEC	—
R17	セキュアブート要求仕様書	SEC-19PF-SBT-REQ-SPEC	—
R18	セキュアブート評価仕様書	SEC-19PF-SBT-TST-SPEC	—
R19	侵入検知 セキュリティ機能向け 復 旧 要求仕様書	SEC-ePF-IDS-REC-REQ-SPEC	—
R20	侵入検知 セキュリティ機能向け 復 旧 評価仕様書	SEC-ePF-IDS-REC-TST-SPEC	—
R21	侵入検知 IdsM Instance ID・ Sensor Instance ID定義書	SEC-ePF-IDS-ID-INST-DOC	—
R22	サイバーセキュリティ審査情報提供 要件書	SEC-ePF-VCL-EIP-REQ-SPEC	UN-R155審査 を受ける車両の 電気・電子部品 であるため、引き 当てを実施
R23	サプライヤSIRT要件書	SEC-ePF-VCL-SIRT-REQ-SPEC	電子PFに搭載さ れるECUを管理 するため、引き当 てを実施
R24	電子PFのサイバーセキュリティコンセ プト定義書	SEC-24PF-VCL-CPT-INST-DOC	—
R27	リプログラミングセキュリティ運用規定	SEC-ePF-RPR-OPE-STD- S00-03-a	—
R28	21CYMM 情報セキュリティ対策要 件書	SEC-21PF-MMS-CMR-a00-05-b	—
R29	車載個人・プライバシー情報削除 要求仕様書	PPI-ePF-DLT-REQ-SPEC-a00-02-a	—
R30	車載個人・プライバシー情報削除 評価仕様書	PPI-ePF-DLT-TST-SPEC-a00-02-a	—

5. 標準サイバーセキュリティ仕様書で保護する情報資産

5.1. 情報資産

本書が対象とする、保護すべき情報資産分類の基準について、別紙AppendixH 情報資産分類一覧に示す。本分類に該当する情報資産はユーザ及びトヨタの財産であり、資産価値が損なわれることで様々な被害が発生するため、保護を実施する必要がある。

Appendix A. ECU独自のサイバーセキュリティ要求仕様

標準サイバーセキュリティ仕様書の引き当て依頼書に記載され、かつECUに引き当てる「標準サイバーセキュリティ要件書/要求仕様書」を詳細化した、ECU独自のサイバーセキュリティ要求仕様書として、別紙「190_AppendixA_ECU独自のサイバーセキュリティ要求仕様書」を参照のこと。

Appendix B. ECU独自のサイバーセキュリティ評価仕様

ECU独自のサイバーセキュリティ要求仕様通りに動作することを実施後に確認するためには、別紙「190_AppendixB_ECU独自のサイバーセキュリティ評価仕様」を参照のこと。

Appendix C. 暗号鍵

別紙『190_AppendixC+D_鍵フォーマット資料』を参照のこと。

Appendix D. 鍵フォーマット

別紙『190_AppendixC+D_鍵フォーマット資料』を参照のこと。

Appendix E. 車両サイバーセキュリティECU開発プロセス CIA

車両サイバーセキュリティECU開発プロセスにおける、トヨタとTier1サプライヤの責務を、本CIA(Cybersecurity Interface Agreement)を用いて、基本テンプレートとして明確化する。別紙参照のこと。

Appendix H. 情報資産分類一覧

別紙『190_AppendixH 情報資産分類一覧』を参照のこと。